

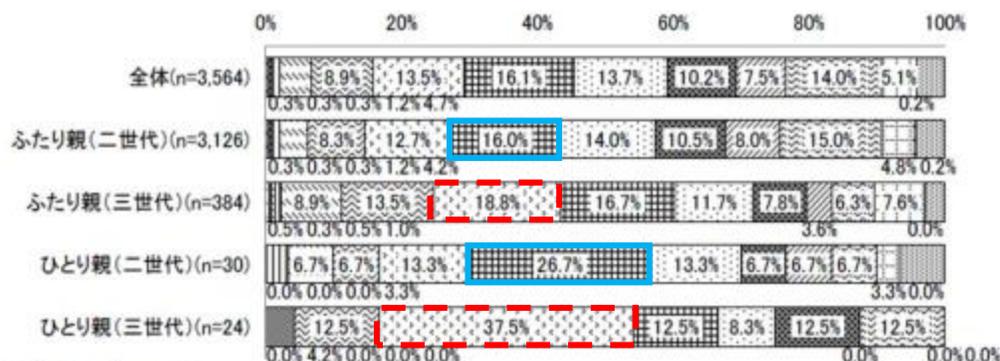
父親の年間収入（世帯タイプ別）

- 世帯タイプによってかなりバラつきがある。

※「母親」のように明確な傾向は見られない。

（例：ひとり親の収入が高い等）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



暮らしの状況（生活困難度別）

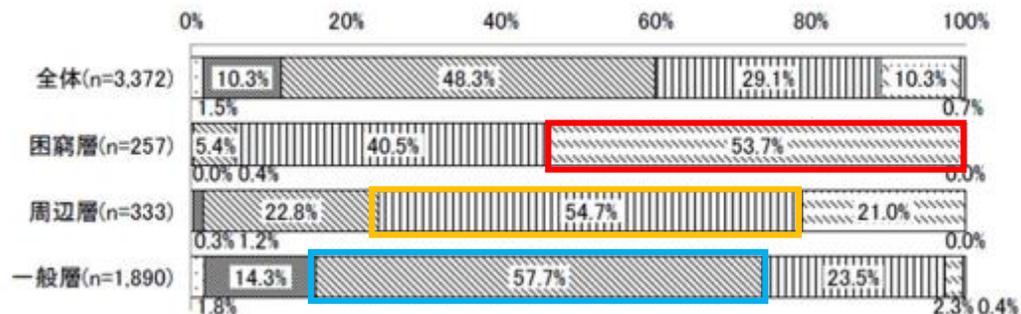
- ・ 困窮層は「大変苦しい」が最多
- ・ 周辺層は「やや苦しい」が最多
- ・ 一般層は「普通」が最多

※いずれの層も「ゆとりがある」と感じている世帯はとても少ない。

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



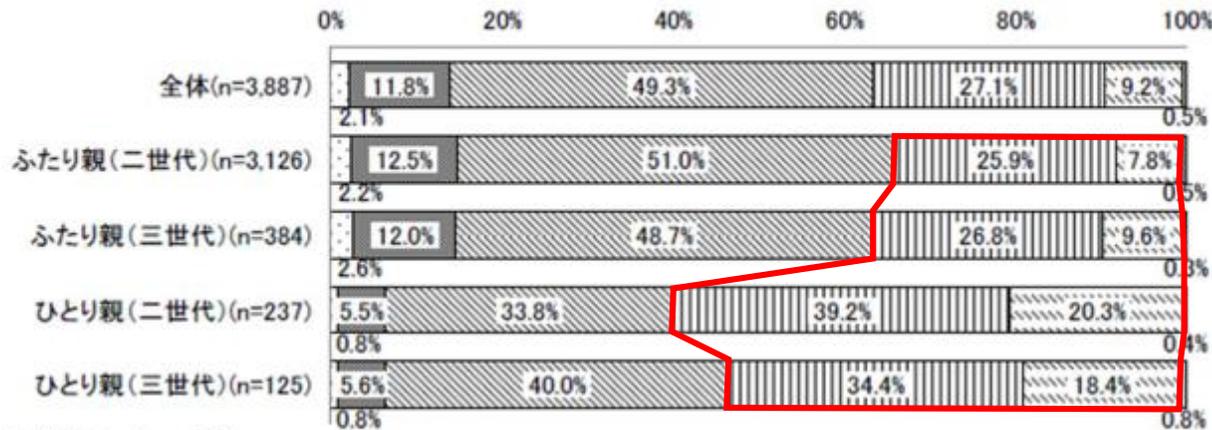
大変ゆとりがある
 ややゆとりがある
 普通
 やや苦しい
 大変苦しい
 無回答



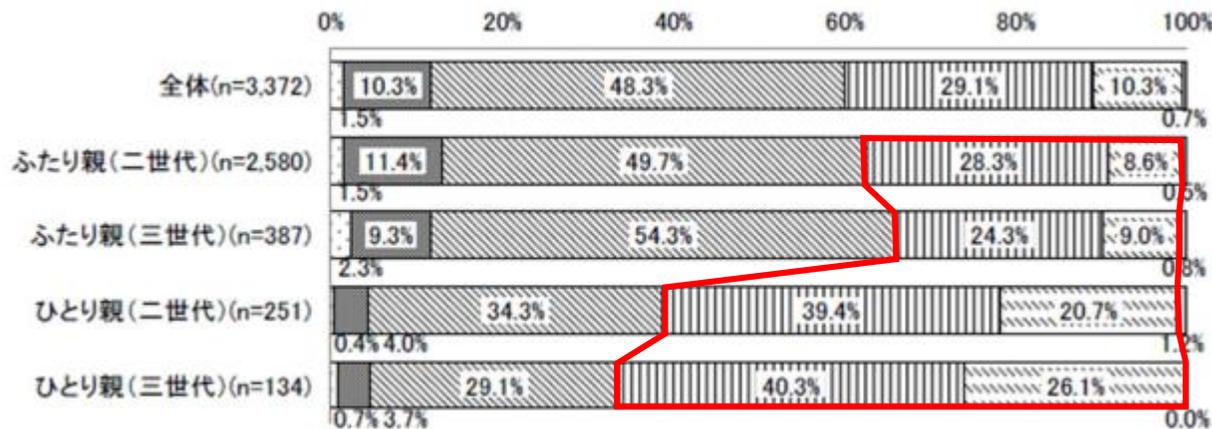
暮らしの状況（世帯タイプ別）

- ふたり親世帯に比べひとり親世帯では、
「やや苦しい・大変苦しい」とする割合が高くなっている。

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



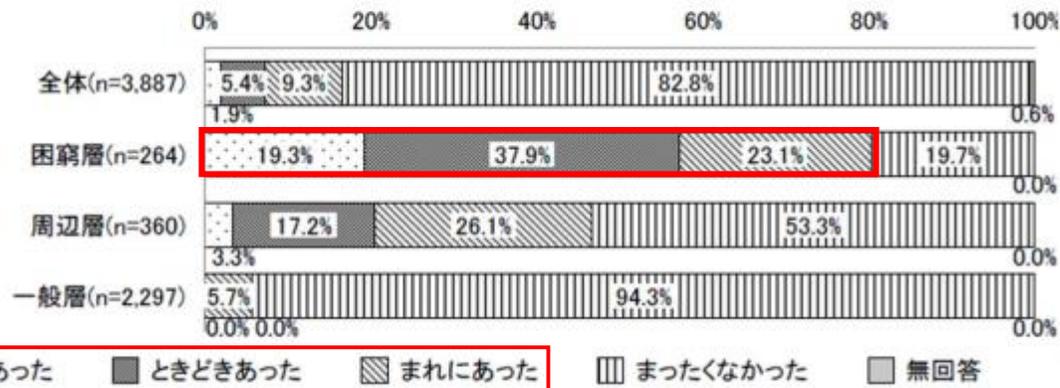
大変ゆとりがある
 ややゆとりがある
 普通
 やや苦しい
 大変苦しい
 無回答



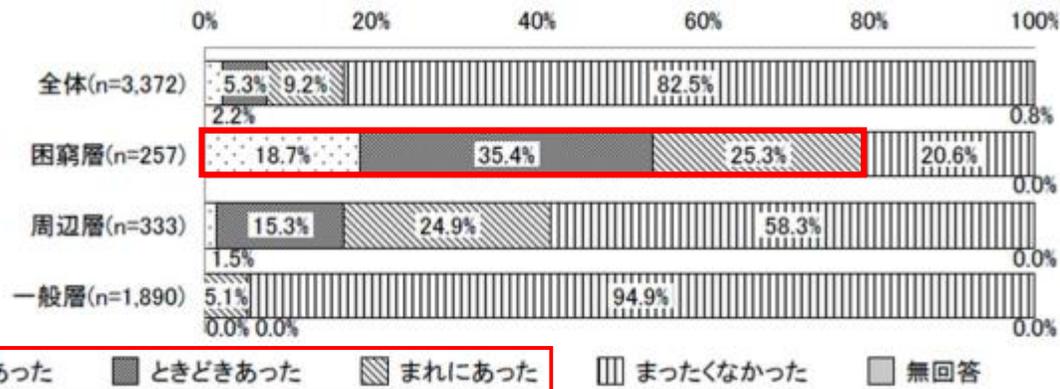
金銭不足で「食料」が買えなかった経験

- ・ 困窮層では、約80%の世帯で食料を買えなかった経験がある。

<小学生> (p<.01)



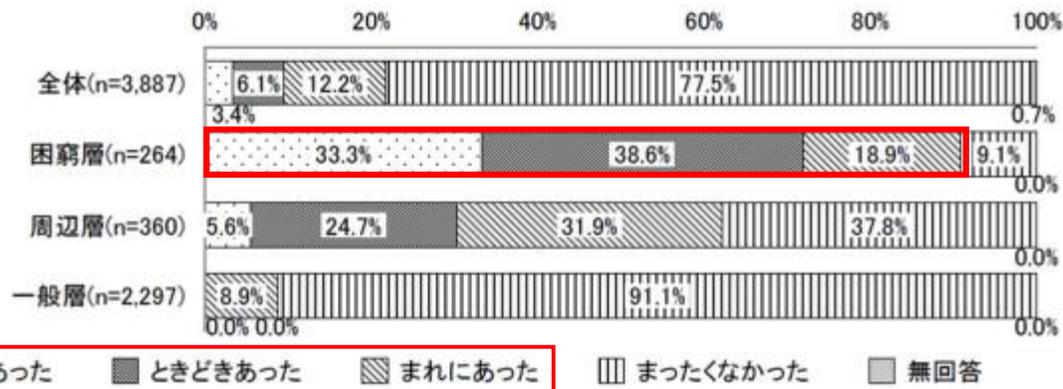
<中学生> (p<.01)



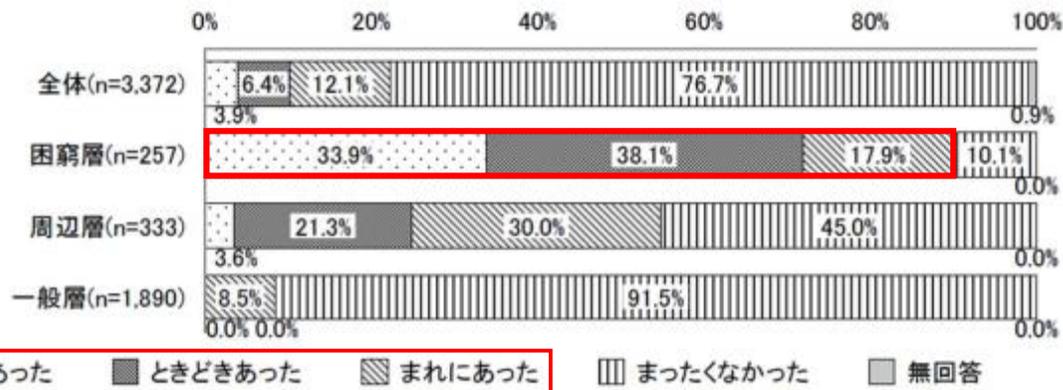
金銭不足で「衣類」が買えなかった経験

- ・ 困窮層では、約90%の世帯で衣類を買えなかった経験がある。

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



経済的理由で「公共料金等」を支払えなかった経験

- 一般層に比べ**困窮層**において、**公共料金等の滞納経験**が多い。
- **困窮層**では、**ライフライン(電気・ガス・水道)の滞納経験が20%以上**。

<小学生>

<中学生>



※「(滞納経験があった)」と回答した割合

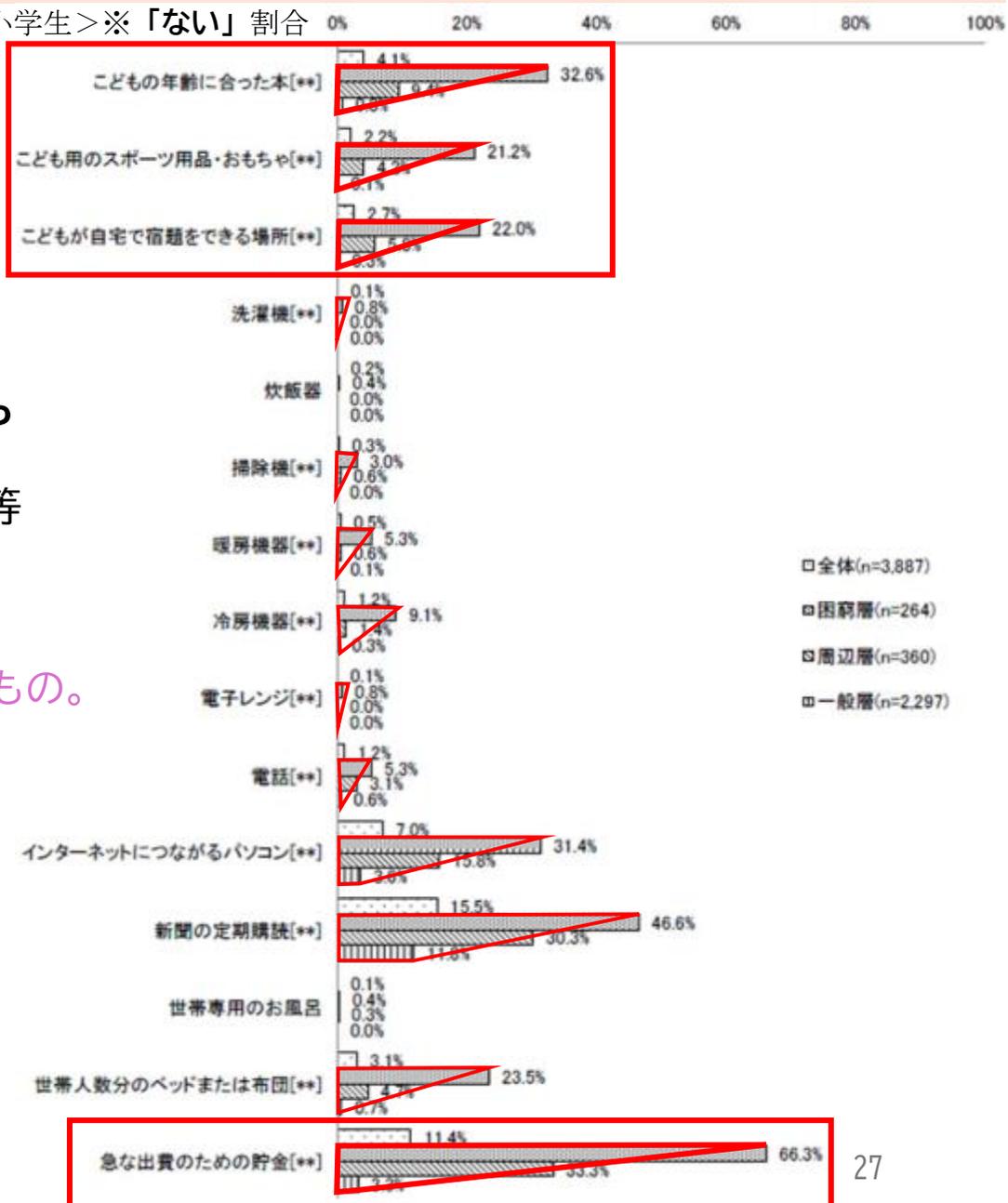


世帯に「ない」もの

<小学生>※「ない」割合

- 一般層に比べ**困窮層**では、
 - 急な出費のための**貯金**
 - こどもの年齢に合った**本**
 - こども用の**スポーツ用品・おもちゃ**
 - こどもが自宅で**宿題をできる場所** 等
 が「ない」とする割合が高い。

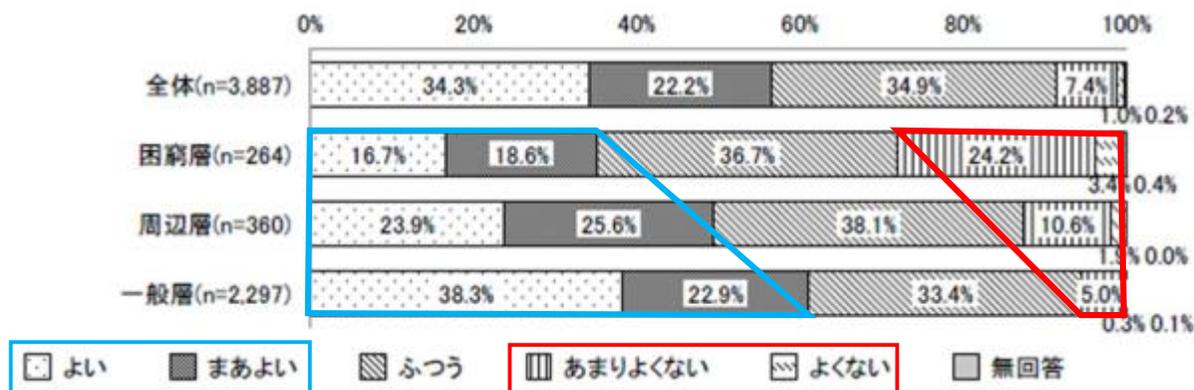
※上記は一般層のほとんどが所有しているもの。



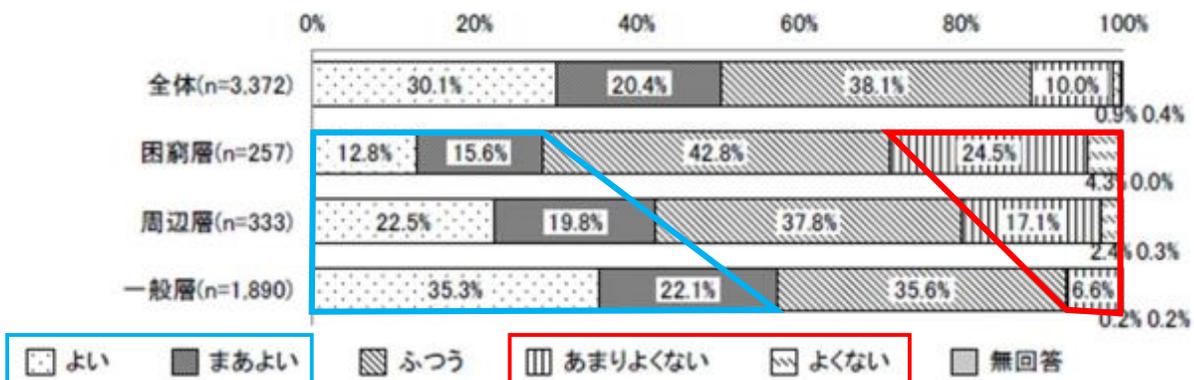
保護者の健康状態

- 一般層に比べ**困窮層**では、健康状態が「あまりよくない・よくない」保護者の割合が高く、**20ポイント以上の差**がある。

<小学生> (p<.01)



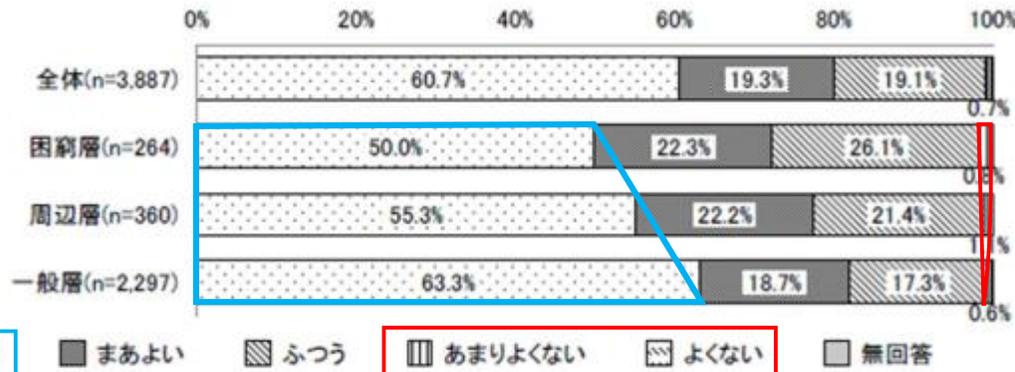
<中学生> (p<.01)



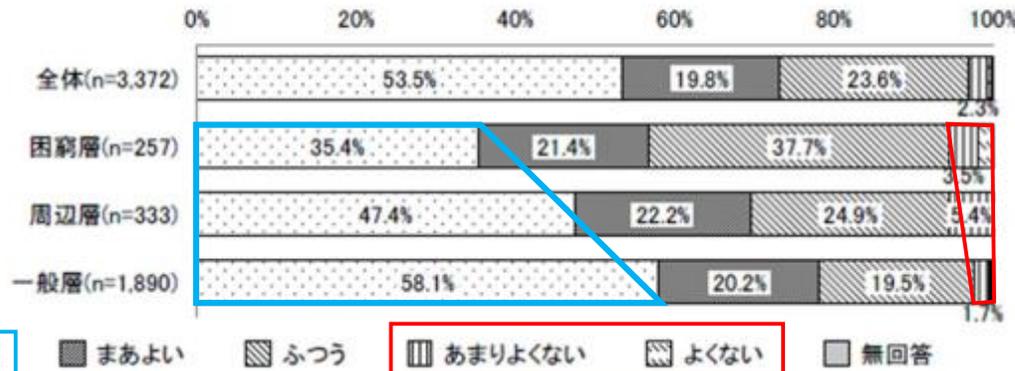
(保護者から見た) こどもの健康状態

- 一般層に比べ**困窮層**では、保護者から見た**こどもの健康状態**について「よい」と回答した割合が**低い**。

<小学生> (p<.01) ※一方で「あまりよくない・よくない」との回答はとても少ない。



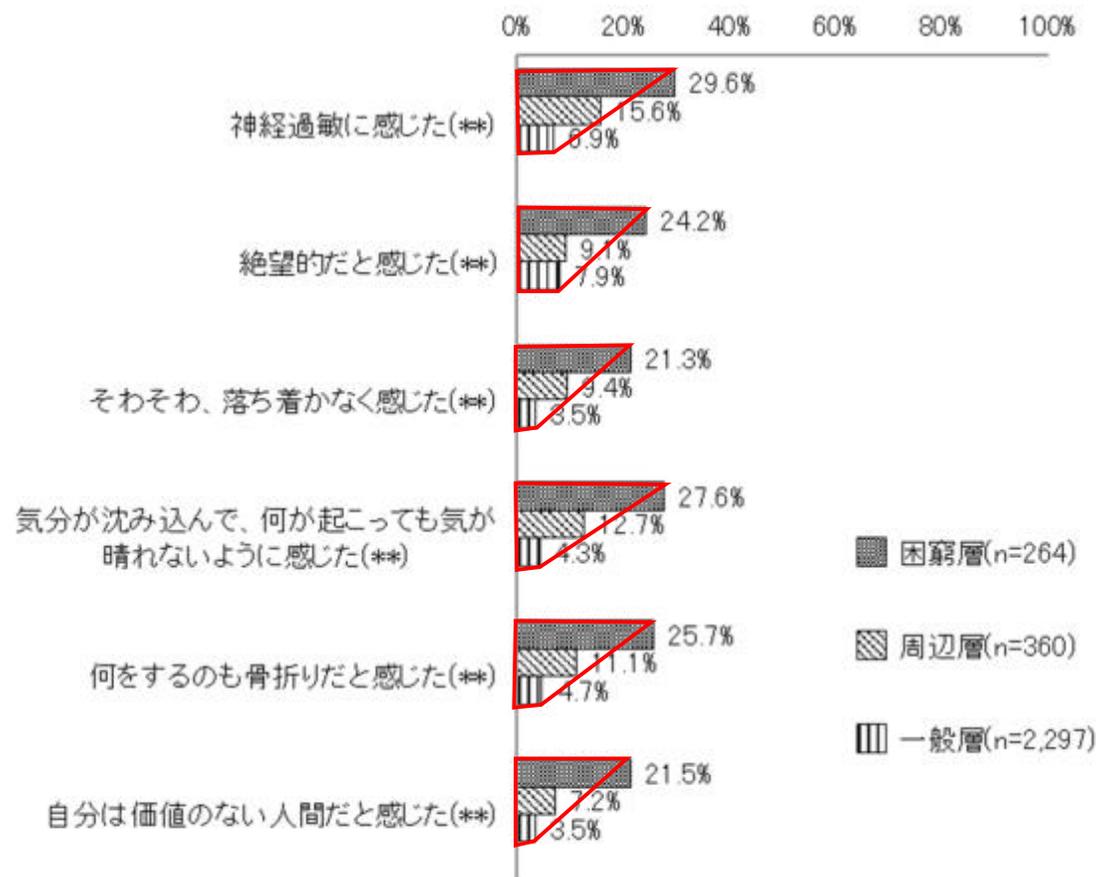
<中学生> (p<.01)



(保護者の)心の状態

- 一般層に比べ**困窮層**では、**ネガティブな状態**が**頻繁**に生じている割合が高い。

<小学生> ※中学生も同様の回答傾向



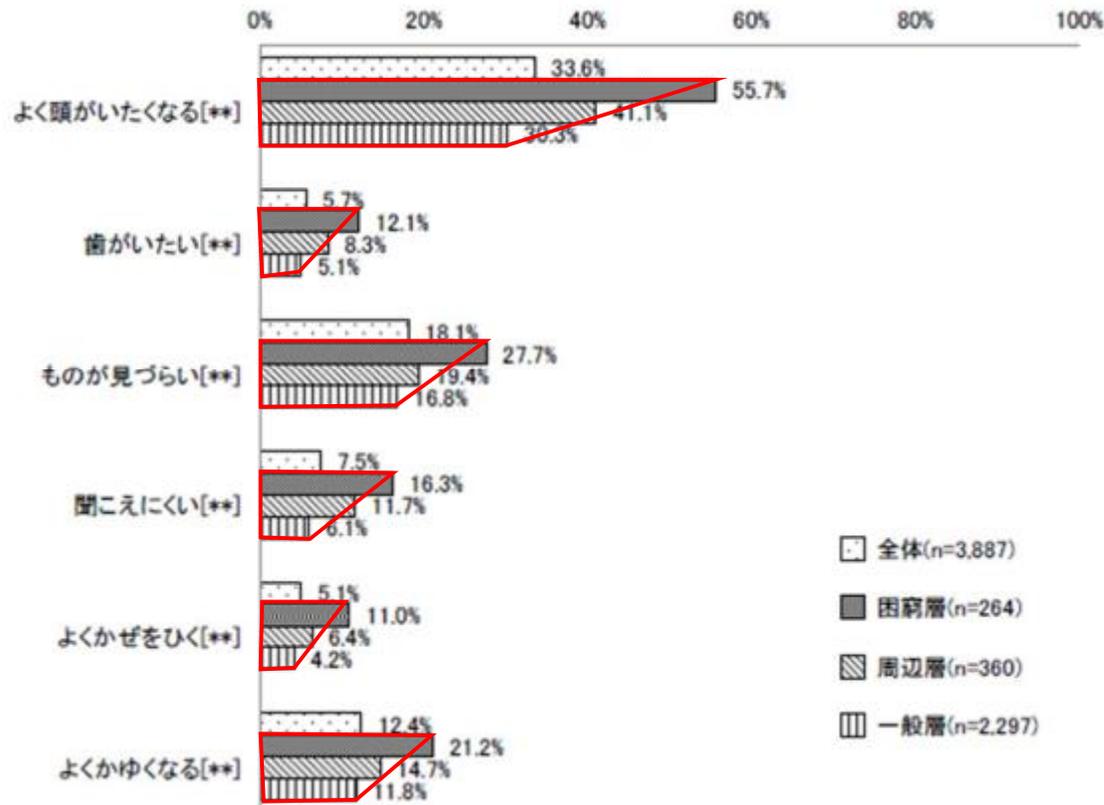
※ 「いつも」又は「たいてい」と回答した割合



(保護者が)自分の体で気になること

- 一般層に比べ**困窮層**では、保護者が**体の不調**を感じている割合が高い。

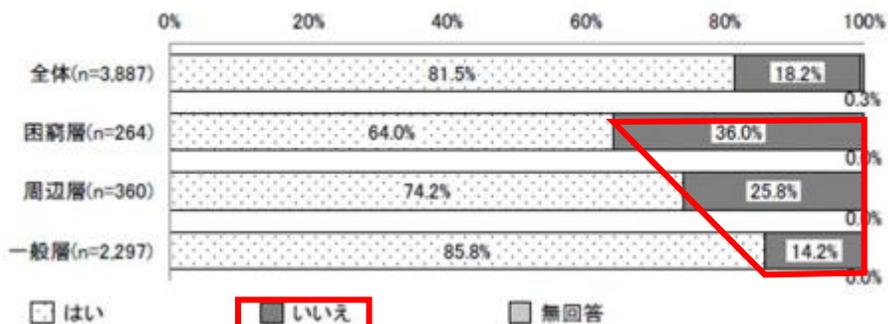
<小学生>



(保護者の)健康診断等の受診状況

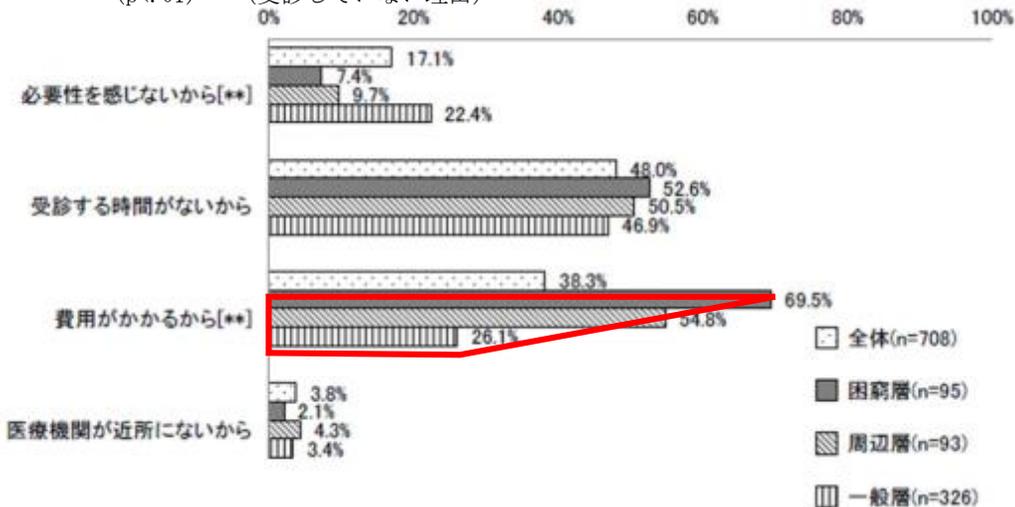
- 一般層に比べ**困窮層**では、保護者が**健康診断**や**がん検診**を受けていない割合が高く、その理由は「**経済的理由**」が大きい。

<小学生> (p<.01) (回答者が健康診断やがん検診を受診しているか。) ※中学生も同様の回答傾向



□ はい ■ **いいえ** = 受診していない □ 無回答

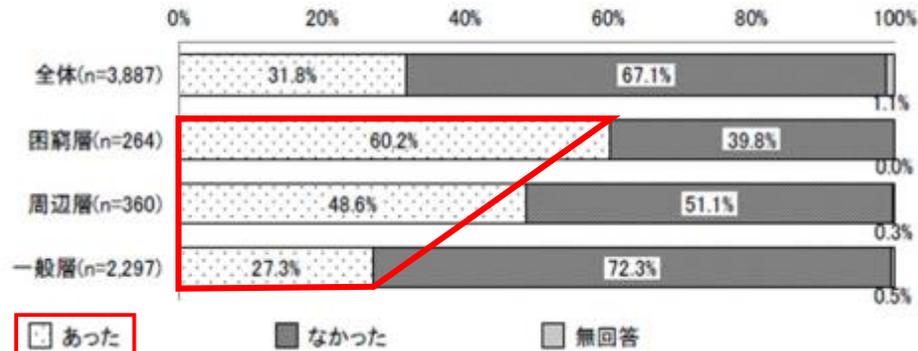
(p<.01) (受診していない理由)



(保護者の)医療機関の受診状況

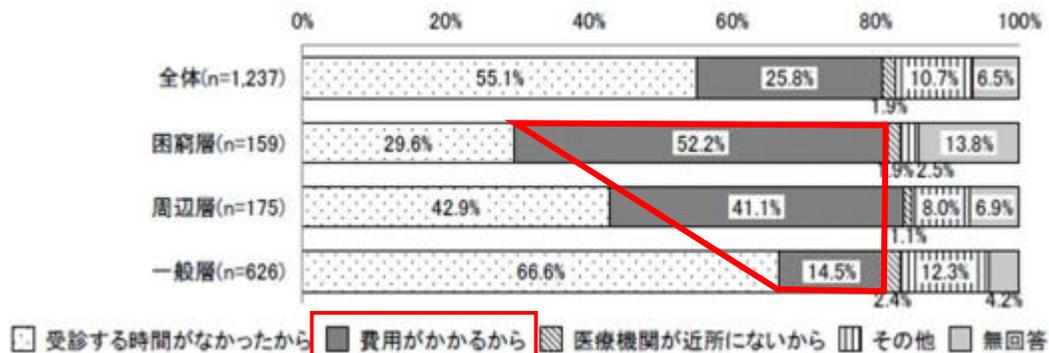
- 一般層に比べ**困窮層**では、保護者が**医療機関を受診しなかった**割合が高く、その理由は「**経済的理由**」が大きい。

<小学生> (p<.01) (回答者が医療機関を受診した方がよいと思ったが、実際には受診しなかったこと。) ※中学生も同様の回答傾向



□ あった
=受診しなかった

(p<.01) (受診しなかった理由)

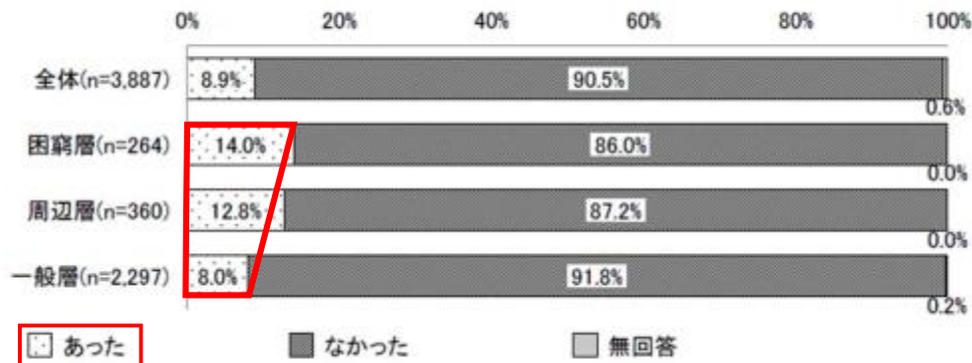


(こどもの)医療機関の受診状況①

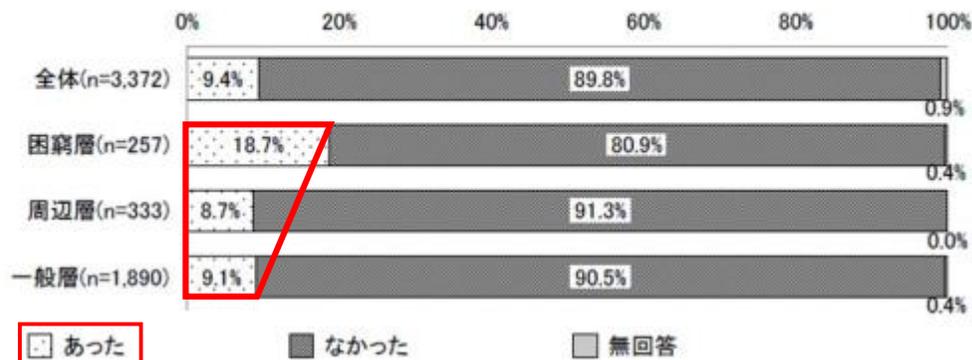
- 一般層に比べ**困窮層**では、**こどもを医療機関で受診させなかった**割合が高い。(中学生においてやや顕著)

※ただし、**保護者に比べると未受診の割合はかなり低い(受診率が良い)**。

<小学生> (p<.01) (お子さんを受診させた方がよいと思ったが、受診させなかったこと。)



<中学生> (p<.01)



(こどもの)医療機関の受診状況② (理由)

- こどもを受診させなかった理由について、
一般層に比べ**困窮層**では「**多忙で連れていく時間がなかった**」
とする割合が高い。(経済的理由は少ない。)

↳保護者の理由(経済的理由が多い)と異なる。

[補足情報]

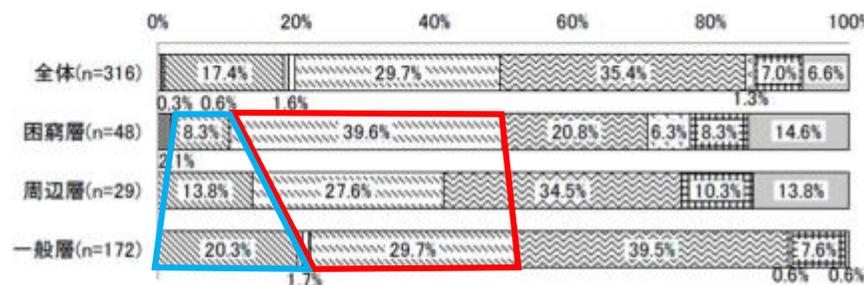
一般層では、小学生に比べ**中学生**において「こども本人が受診しなかった」
との理由が高くなっている。

<小学生> (検定不可)



- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- こども本人が受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れていく時間がなかったため
- 最初を受診させようと思ったが、こどもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 自分の健康状態が悪かったため
- その他
- 無回答

<中学生> (検定不可)



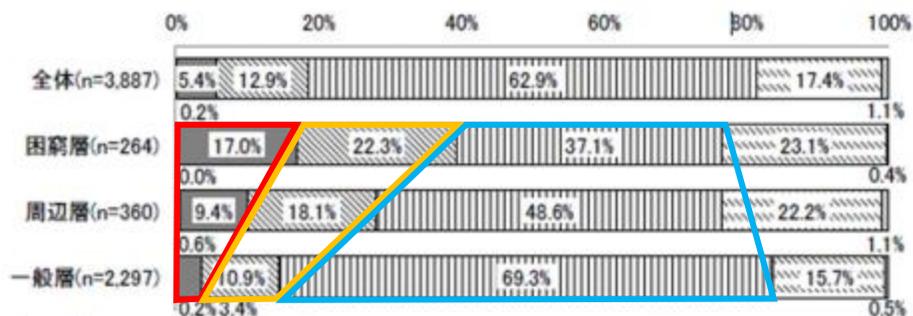
- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- こども本人が受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れていく時間がなかったため
- 最初を受診させようと思ったが、こどもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 自分の健康状態が悪かったため
- その他
- 無回答

(こどもに)教育を受けさせたい段階 (希望進路)

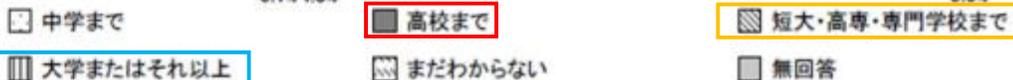
- 保護者から見た「こどもに受けさせたい教育(進路)」について
 一般層に比べ**困窮層**では「**高校まで**／**短大・高専・専門学校まで**」が多く、
「大学またはそれ以上」が少ない。

※ただし、**困窮層**でも「**大学またはそれ以上**」が**最多**

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



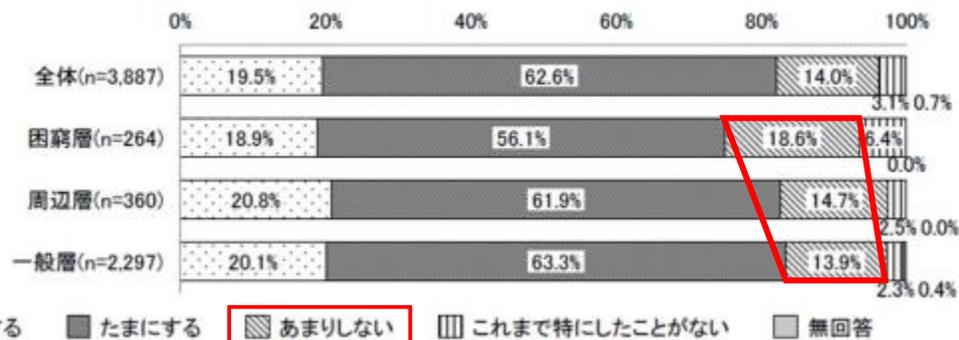
(保護者が)

こどもと将来の夢・進路等について話すこと

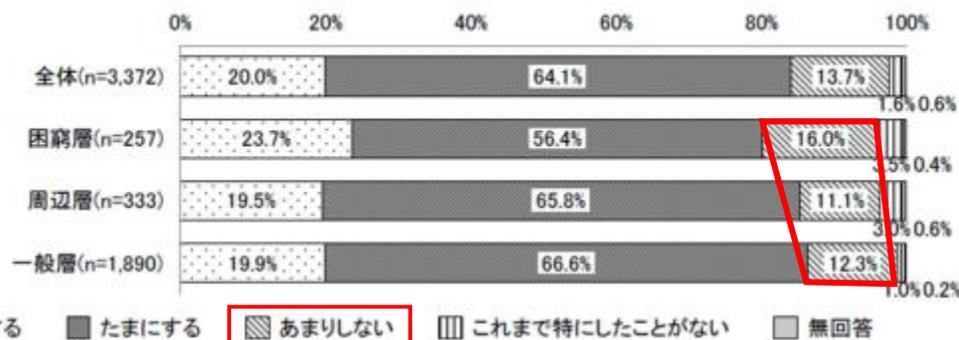
- 一般層に比べ**困窮層**では、保護者がこどもと将来の夢・進路等について話すことについて、「あまりしない」とする割合がやや高い。

※ただし、**困窮層**でも大半は「よくする・たまにする」と回答。

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)

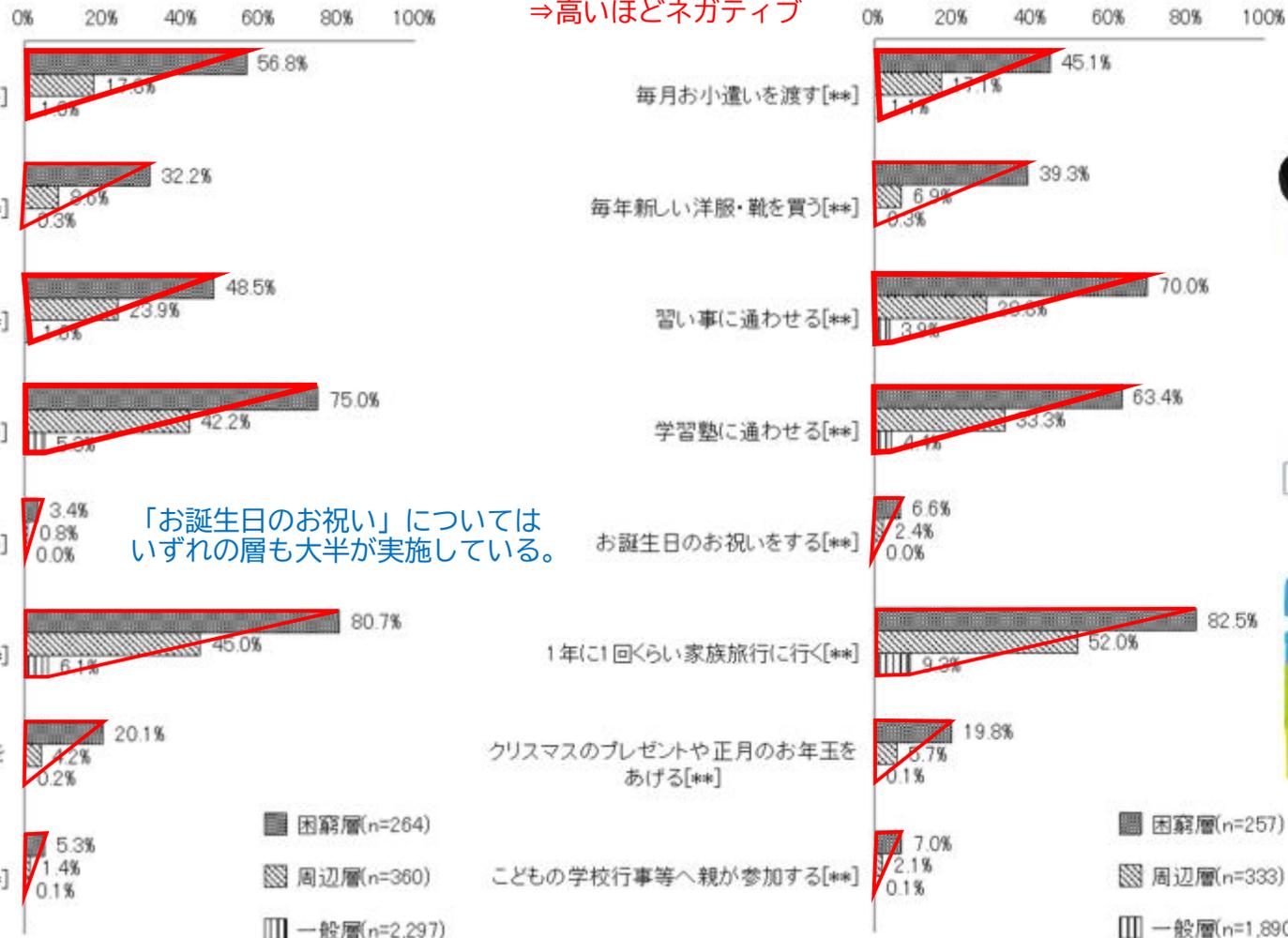


経済的理由で「できていない」こと

- 一般層に比べ**困窮層**では、こどもに「お小遣い」「習い事」「学習塾」等を経済的理由で**提供できていない**割合が高い。

<小学生> ※「していない(経済的にできない)」割合
→高いほどネガティブ

<中学生>



「お誕生日のお祝い」については
いずれの層も大半が実施している。



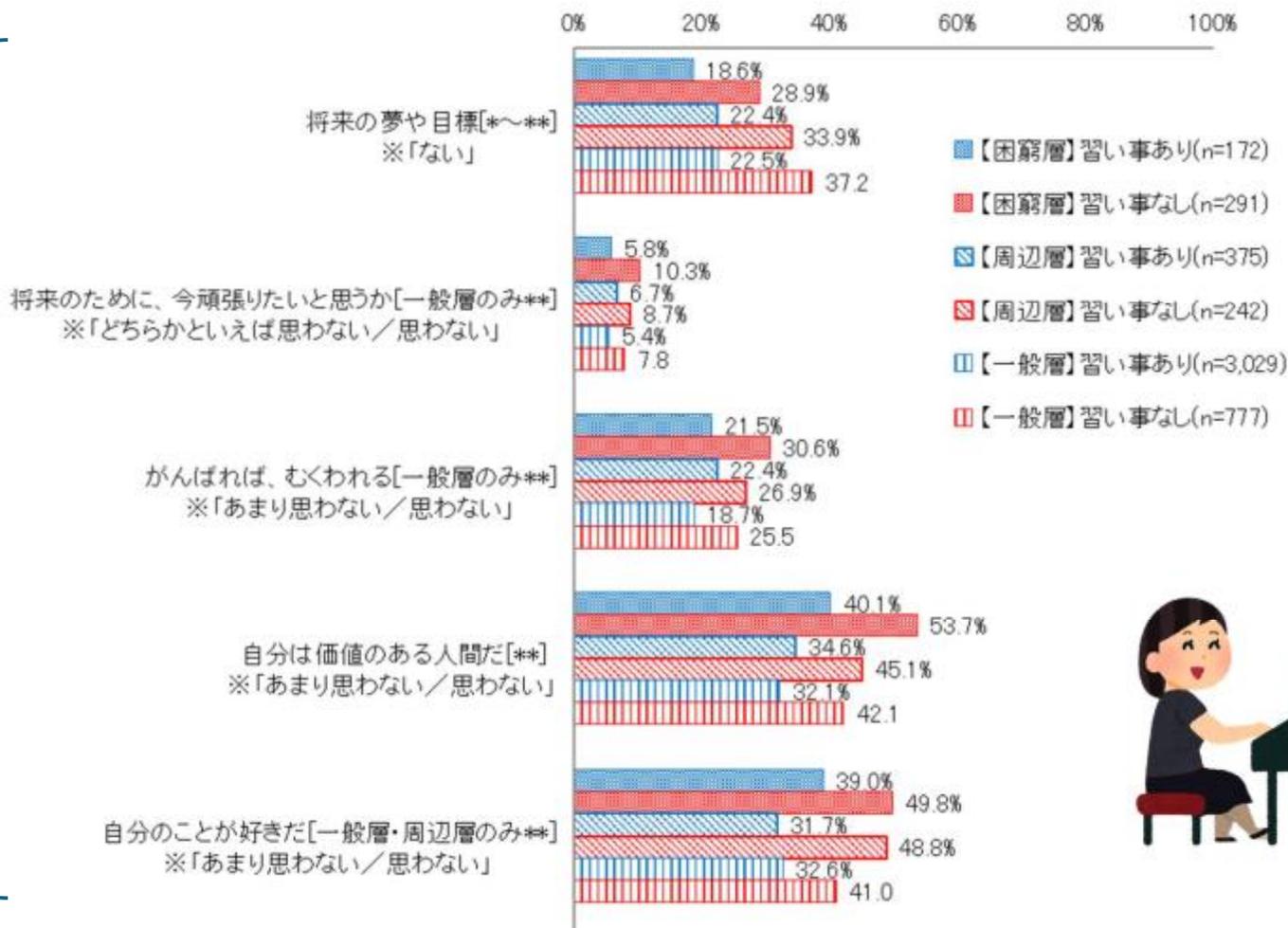
【+α】 習い事とこどもの自己肯定感

- 生活困難度に関わらず、「習い事」をしているこどもの場合、

「将来の目標」や「自己肯定感」が高い（ネガティブ回答が少ない）。

⇒習い事は、こどもが将来に対する希望や前向きな気持ちを持つことにつながる可能性

※ネガティブ回答の割合↓低いほど良い



経済的理由で「体験していない」こと（レジャー等）

- 一般層に比べ**困窮層**では、海水浴やキャンプ等の**レジャー**について、経済的理由により**体験していない**割合が高い。

<小学生>

※「金銭的理由で『(してい)ない』」と回答した割合⇒高いほどネガティブ

